

**製品名: S2P ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17522**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	MBTPS2
別名	MBTPS2; S2P; Membrane-bound transcription factor site-2 protease; Endopeptidase S2P; Sterol regulatory element-binding proteins intramembrane protease; SREBPs intramembrane protease
遺伝子 ID	51360.0
SwissProt ID	O43462
免疫原	抗血清はヒト MBTPS2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 301-350

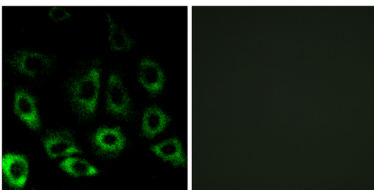
**背景**

この遺伝子は、発生に必須の膜内亜鉛メタロプロテアーゼをコードしています。このプロテアーゼは、ステロールによる転写制御と ER ストレス応答に関連するシグナルタンパク質の活性化に作用します。この遺伝子の変異は、無毛・羞明を伴う濾胞性魚鱗癬（IFAP 症候群）と関連付けられており、IFAP 症候群はコレステロール恒常性の低下と ER ストレス応答に定量的に関連付けられています。[RefSeq 提供、2009 年 8 月]、触媒活性：膜貫通ドメイン内の 2 型膜貫通タンパク質であるいくつかの転写因子を切断します。既知の基質には、ステロール調節エレメント結合タンパク質（SREBP）-1、SREBP-2、および転写活性化因子 ATF6 の形態が含まれます。SREBP-2 は、部位 477-DRSRILL-|-CVLTFLLCLSFNPLTSLLLQWGGA-505 で切断されます。膜貫通ドメインの切断部位から 11 残基離れた Asn-Pro 残基は、S2P エンドペプチダーゼによる切断に重要である。これらの残基のいずれかを置換しても切断は阻害されませんが、両方の残基を置換した場合は切断は起こらない。補因子：サブユニットあたり 1 個の亜鉛イオンに結合する。機能：ステロール調節エレメント結合タンパク質（SREBP）の膜内タンパク質分解により、膜貫通セグメントの一部が結合した N 末端セグメントが遊離する。サイト 2 の切断は、内腔ループで起こるサイト 1 の切断の後に起こる。類似性：ペプチダーゼ M50A ファミリーに属する。組織特異性：心臓、脳、胎盤、肺、肝臓、筋肉、腎臓、脾臓で発現する。、

## 研究分野

心血管系、脂質/リポタンパク質、脂質代謝、コレステロール代謝、シグナル伝達、代謝、細胞生物学、タンパク質分解/ユビキチン、タンパク質分解酵素、その他のプロテアーゼ、経路とプロセス、代謝シグナル伝達経路、脂質およびリポタンパク質代謝

## 画像データ



MBTPS2 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。